



# せんせき 穿石

令和 8年 2月号班回覧

校訓「点滴穿石」:小さな水滴でも長い年月の間には、硬い石に穴をあけることができる。これは、努力の継続が夢や目標の実現を可能にする教えを示すものです。

あこがれの丘

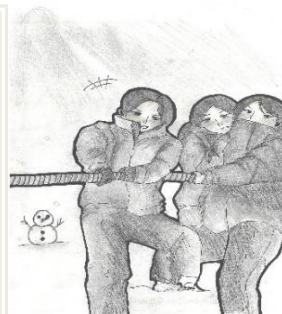
## 岩手県立雫石高等学校

※穿石は、本校ホームページでもご覧いただけます。

### ❄️ 第47回 雪上運動会 ❄️

#### 雪と笑顔の大冒険

～仲間と駆ける白銀のフィールド～



大いに盛り上がった綱引き 保護者の皆さんも出場しました



恒例の餅まき

そりりレーでは先生方を運びました

PTAの美味しい豚汁をいただきました

1月24日(土)、本校の伝統行事である第47回雪上運動会を開催しました。本行事には、復興学習や「海の運動会」をとおして交流を深めている山田高校1年生のみなさんにも参加していただきました。今年は十分な積雪に恵まれ、グラウンドでは「雪上綱引き」と「そりりレー」の2種目を実施し、体育館では「バレーボール」を行いました。快晴の空のもと、両校の生徒は競技や応援をとおして交流を深め、絆を一層強める一日となりました。競技に先立って行われた餅まきでは会場が大いに盛り上がり、競技終了後にはPTAの皆さまにより豚汁が振る舞われ、参加者の心と体を温めました。本行事は、生徒会執行部を中心に生徒が主体となって企画・運営され、協力と工夫により大きな成果を収めました。また、仲間とのつながり、他校との交流、そして伝統を大切に作る心を実感できる、意義深い行事となりました。

### 1・2年 冬季進路ガイダンス



12月24日(水)・25日(木)の2日間にわたり、21の学校・企業のみなさまをお招きし、本校独自の進路ガイダンスを実施しました。本ガイダンスは、本校のキャリア教育の特長の一つであり、生徒が講師の方々との対話を通して人生観・職業観を深く見つめ直すことを目的としています。今回は、生徒があえて自分の苦手な分野や、これまで関心の薄かった分野を多く選択し、視野を広げながら学びを深めました。講師のみなさまの実体験に基づく話に真剣に耳を傾け、自身の進路や生き方について考えました。

# 令和7年度 台湾派遣事業



毎年交流している陽明高校



今年度は新たに惇叙工商高校とも交流



## 行程

令和7年

**12月16日(火)**

仙台空港から桃園空港へ

**12月17日(水)**

陽明高校訪問交流

惇叙工商高校表敬訪問

龍山寺

**12月18日(木)**

故宮博物院 九份

十分 中正紀念堂

総督府 士林夜市散策

**12月19日(金)**

桃園空港から仙台空港へ

昨年度より実施している台湾派遣事業に、今年度は2名の生徒が参加し、台北市内の高校2校との交流をはじめ、台北を中心とした研修を行うことができました。令和7年度は雫石町より補助をいただき、より充実した研修を実施することができました。ご支援を賜りました皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後も台湾の高校生との交流を一層深めてまいります。

### 台北市立陽明高級中学訪問

2年 六角 毎佳

陽明高級中学の生徒の皆さんとの交流会で私は素敵なお出でを沢山いただくことができました。

はじめは、台湾の学生ってどんな方達なんだろうと緊張で胸がいっぱいでした。そんな中、陽明高級中学の代表の生徒の皆さんが日本語を使って自身の学校のことを紹介したり、私達に話しかけてくださったりしました。日本語が話せる人がいることに驚いたとともに、聞きなれた言葉を耳にした事で少しリラックスできて初めより緊張が和らぎました。

体験授業では、体育の授業としてテニスをアメリカなどからの留学生の方と共に楽しみました。座学では、探究の授業をインドとアメリカから来た2人の留学生さんと一緒に参加させて頂きました。どちらの授業も流暢な英語で進んでいくのでついて行くのに必死ではありましたが、周りの先生や生徒さんが優しく寄り添ってくださったので、普段とは違う環境を楽しみながら受講する事ができました。

このような機会を頂いたお陰で私は、国境を超えて人を思いやる心を肌で感じ、暖かい思い出として自分の財産とすることができました。今回の素晴らしい学びの機会に感謝するとともに、私だけでなく今回ご縁のあった全ての方におかれましても今回の研修が思い出に残るものであることを願っております。ありがとうございました。

### 台北市私立惇叙高級工商職業学校訪問

3年 神田 結月

惇叙(とんじょ)工商学校では、学校案内を生徒の皆さんが英語で行ってくれました。そこで一番驚いたことは、自動車修護科の教室が自動車会社ごとに多数あり、自習設備がとても豊富だと感じた点です。また、建築科の実習では木工加工を体験することができました。木工は初めてではありませんでしたが、生徒の皆さんが優しく丁寧に教えてくださり、台湾の形の木工作品を作ることができました。

生徒や教職員との交流では、予定にはありませんでしたが、さんさ踊りの披露も行いました。生徒の皆さんは初めて見る踊りにも関わらず、大きな身振り手振りで真似をしてくれ、掛け声もたくさん出してくれました。また、明るく活発な雰囲気のおかげで、発表する側も楽しく発表することができました。

今回の交流を通して、日本と台湾の文化の違いも感じました。日本では落ち着いた話を聞く場面が多いですが、台湾の皆さんはリアクションが大きく、積極的に交流を楽しんでいるように感じました。惇叙工商学校の生徒の皆さんもとてもフレンドリーで、その背景には実習や発表など、人と関わる学びが多い教育環境があるのではないかと感じました。この訪問から、技術を学ぶだけでなく、人と関わる姿勢や積極的に交流を楽しむことの大切さを学びました。今後は、新しい挑戦をたくさんしていきたいと思える機会となりました。



故宮博物院



中正紀念堂



九份



十分の天燈上げ



出発前に町長様・教育長様へご挨拶をさせていただきました

